

三八

まちむらトピックス

火災警報器34個を寄贈

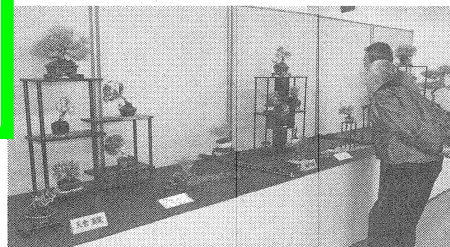
八戸市の女性でつくる社会福祉奉仕団体「一葉会」(長畑蓉子会長)は5日、八戸消防本部(細越敬一郎代表)を訪れ、住宅火災警報器34個(10万円相当)を寄贈した。



同会は市内でチャリティーバザーやコンサートなどを行い、その収益で市内の各種団体に寄付を続けている。2009年からは毎年、住宅火災警報器を贈っており、計202個となった。今年は旭ヶ丘、桜ヶ丘、湊高台地区の災害時要援護者の住む民家に取り付けられる。(佐藤雄)

丹精込めた盆栽161鉢を展示

八戸盆栽クラブ(宮川悦男会長)の盆栽展が8日、八戸市の八食センターで始まり、会員31人が育てた161鉢の盆栽が会場を彩っている。11日まで。



会場入り口では、コケやススキ、松などをを用い「里山」を表現した畳4畳分の大きさのジオラマがお出迎え。また、育てるのが難しいといわれるカリンやミカンの実が付いた会員の力作などもあり、まじまじと見入る来場者の姿も見られた。

入場無料。午前9時～午後6時、最終日は午後4時半まで。(佐藤雄)

八戸

八戸市の志学塾(畑山篤塾長)は4日、市内の友の会福祉会館で、青森県立高校の最新の入試動向を紹介する進学情報展を開いた。中学3年生ら約160人が入試解説などに耳を傾け、志望校選びの参考にした。

高校入試 最新動向は 志学塾 進学情報展

青森県立高校の最新の入試情報を紹介した進学情報展



が激しくなるケースも見受けられたことから「どうしても行きたい」という志望理由が必ずしも、明確な目標を持って努力する重要性を強調した。市内から参加した男子中学生(15)は「志望校はまだ考え中だったが、早く決めたい」と話した。会場では県内外の私立高校の担当者らによる進路相談なども行われた。(金澤一能)

2016年小中学生のための進学情報展 in 八戸

開催日：2016年12月4日(日)

掲載日：2016年12月9日(金)／デーリー東北新聞

ペッパー

五戸町立切谷内小(小坂尚校長)で7日、人型ロボット「Pepper(ペッパー)」による3、4年生17人が骨を丈夫にするためのカル学んだ。(出川しのぶ)



つい

取材の中で、何かしらの活動に長年携わる方にお会いすることが多い。先日、八戸市食生活改善推進員協議会の会長さんが、20年以上の長きにわたって市民の食生活改善に寄与したとして、栄えある勲章を授けられた。その姿に、多くの人々が感動を覚えた。また、以上、ウオーという方、つは何か、ペッ

パーといと弱る45はが栄かりル
1い合話くた歳骨必養りシ